産業サイバーセキュリティ研究会 WG1（制度・技術・標準化）工場 SWG（第 8 回）議事要旨

日時　　：令和 7 年 3 月 4 日（火）15 時 00 分～16 時 45 分

構成員　：

（座長）	江崎　浩	東京大学大学院 情報理工学系研究科教授
	市岡　裕嗣	三菱電機株式会社 FA システム事業本部 DX 推進プロジェクトグループ Chief Expert
	岩﨑　章彦	一般社団法人電子情報技術産業協会 セキュリティ専任部長
	榎本　健男	一般社団法人日本工作機械工業会 技術委員会標準化部会電気・安全規格専門委員会委員 （三菱電機株式会社名古屋製作所ドライブシステム部 専任）
	桑田　雅彦	NEC セキュリティ株式会社 IoT/OT セキュリティユニット ディレクタ(ユニット長) （Edgecross・GUTP 合同 工場セキュリティ WG リーダ）
	斉田　浩一	ファナック株式会社 IT 本部 情報システム部 部長
	佐々木　弘志	フォーティネットジャパン合同会社 OT ビジネス開発部 部長 （IPA ICSCoE 専門委員）
	斯波　万恵	株式会社東芝 サイバーセキュリティ技術センター 参事 （ロボット革命イニシアティブ（RRI）産業セキュリティ AG）
	高橋　弘宰	トレンドマイクロ株式会社 OT セキュリティ事業部 OT プロダクトマネジメントグループ シニアマネージャー
	中野　利彦	株式会社日立製作所 制御プラットフォーム統括本部 セキュリティエバンジェリスト （名古屋工業大学 ものづくり DX 研究所 客員教授）
	星野　友基	DMG MORI Digital 株式会社 品質管理本部ソフトウェア運用管理部 部長
	松原　豊	名古屋大学大学院 情報学研究科准教授
	村瀬　一郎 （代理：高橋　唯）	技術研究組合制御システムセキュリティセンター 事務局長
	渡辺　研司	名古屋工業大学大学院 社会工学専攻教授

議題　：

１．　開会

２．　工場セキュリティにおけるガバナンスの取組について

３．　ガイドラインの構成変更と新規 Appendix について

４．　工場セキュリティの普及について

５．　自由討議

６．　閉会

要旨　：

1.　工場セキュリティにおけるガバナンスの取組について

・　資料 3 を中野委員より説明

・　資料 4 を株式会社リコー若杉様より説明

2.　ガイドラインの構成変更と新規 Appendix について

・　資料 5 を事務局より説明

3.　工場セキュリティの普及について

・　資料 6 を SC3 武智様より説明

4.　自由討議

(1) ガイドラインの構成変更と新規 Appendix に関するご意見

・　スマート化のガイドライン別冊を作成する際には、本編との整合性を重視し、ダブルスタンダードを避ける工夫を行った。今回、Appendix を用いた形で全体が整理され、簡潔にまとまった。本編の内容が充実するほど中小企業にとってのハードルが高くなるという課題があったが、新たに中小企業に向けて Appendix を設けたことは評価できる。

(2) 工場セキュリティの普及に関するご意見

- BCP の策定率は東日本大震災以来向上しておらず、簡易版の「事業継続力強化計画」が推奨されている。サプライチェーンのリスク対応が求められる中で、サイバーとフィジカル両面の対策が中長期的に重要である。サイバーセキュリティのみを強調するアプローチでは、企業にとって優先順位が下がりかねないため、BCP の枠組みとの連携が重要である。中小企業にアプローチする際には、事業継続のために自然災害対応もサイバーセキュリティ対応も不可欠であるという考え方で、関係部局と連携しながら推進していくことが望ましい。
- サイバーセキュリティへの取組を進める企業が増え、実践的な方法論が蓄積されつつあると感じた。中小企業に対してサイバーセキュリティの観点から直接アプローチしても、情報にたどり着けない、あるいは読まれないという課題がある。事業継続や補助金・融資制度といった企業にとって身近な経路を活用し、Appendix を普及させることが有効であると考えられる。
- セキュリティの推進に関しては、本音で語り合うことが非常に重要と考える。個社や関係者が悩みや課題を共有できる場として SC3 工場セキュリティ共創 SWG があり有効に活用してほしい。また、安全（Safety）とセキュリティ（Security）の融合、そして現場との連携は、中小企業を含め大きな課題であるため、議論を進めていけると良い。
- 中小企業に対しては、サプライチェーンを通じたセキュリティの重要性の理解促進が効果的である。企業にとっては、最終的に売上に影響する問題であり、多くの中小企業がこの必要性に気づき始めている。サプライチェーンセキュリティが今後の対策の重要な鍵となる。
- セキュリティ対策は単独の施策だけでなく、複数の取組を適切に組み合わせる必要がある。サプライチェーン全体を包括的に捉えた対策が鍵となる。

（以上）